

尾州の匠 ものづくりリレー

平成 28 年 9 月より、3 名の参加者が尾州の技術を引き継ぐため、市内の織布工場において研修を開始。受講者が自分で企画設計した生地を匠の指導により実際に織り上げ、撚糸・染色・整理工場への依頼までトータルに学び、尾州産地のテキスタイル製造技術を後世に継承する。

岩正毛織

尾州産地のオーソドックスな子機企業だが、複雑意匠糸が得意。代表者が 80 歳超と高齢のため、廃業を考えていた。子機企業の消滅を危惧して「匠ネットワーク」の足立会長が一緒になり、ここでしかできない織物を作り続けている。



小島日和さん

1992 年愛知県小牧市生まれ。

2015 年名古屋芸術大学デザイン学科テキスタイルデザインコース卒業。テキスタイルメーカーの新しいスタイルの確立を目指し、岩正毛織にて修行中。今年一宮市に移住予定。

近藤毛織工場

尾州では数少ない「麻」素材の生産が中心の企業。現代表は 3 代目で、高齢の 2 代目も現役で活躍している。自社で企画・製造・アパレルへの直接販売まで一貫して行う。「尾州」のものづくりを守っていく気概が感じられる。



浅井勇作さん

「機の織れる織物企画者」を目指し、日々機場での研修に邁進中。織物の工程を一から勉強している。イギリス留学の経験を活かして将来的に尾州の生地を海外に発信していきたい。



原田陽子さん（流しの洋裁人）

京都造形芸術大学で講師として勤務しているが、机上では学べない現場を学び、「尾州」のモノづくりを学生に伝達しようと参加。今年度で大学を退職し、東京で国内生産の素材を強みに生地屋兼ミシンスペースを開業予定。